

## 親会社との取引に有効的な活用を

官公庁、正・賛助会員企業らが参加

### 自動車産業適正取引ガイドライン説明会

7月3日午後2時より名古屋市工業研究所第2会議室において、「自動車産業適正取引ガイドライン」及び「中小企業事業承継税制」「2008年度版ものづくり白書」の説明会を開催し、中部経済産業局を始め愛知県、名古屋市の官公庁、正・賛助会員企業などから88名が参加した。

始めに、協会の後藤会長より開催にあたっての主旨、また自身が委員として参画し、会員企業の経営に欠かせない最も大切なことであり、親会社との取引にもっと活用して欲しい。政府も中小企業の現状を把握し、後押ししたいとの期待もあると挨拶。

第1部「自動車産業適正取引ガイドライン」について、中小企業診断士の古田晃講師に解説をお願いした。ガイドラインは、(1)公正な取引を競争力強化につなげる。(2)競争法上の判断基準を明確化し、当事者同士の認識の差を解消する。(3)海外における適正な取引も促進する。以

上3つの意図がある。

続いて、自動車産業の目指すべき五つの調達原則として、(1)開かれた公正・公平な取引の原則。(2)調達先と一体となった競争力強化の原則。(3)調達相手先との共存共栄の原則。(4)原価低減活動等における課題・目標の共有と成果シェアの原則。(5)相互信頼に基づく双方向コミュニケーションの確保の原則。以上5原則について詳しく解説された。

次に、取引上の問題と下請法及び独占禁止法との関係について説明。最大の原因は当事者相互の認識格差にある。相互協議での合意であっても受注者側からは問題のある取引との認識がある。優越的地位を利用して、いわゆる下請法における「買ったたきの禁止」の類似行為、例えば、補給品の値付け、金型保管費の負担、配送費用の分担、原材料費高騰の価格転嫁、一方的な原価低減率の提示などを含む11項目に該当するような不当な取引である。11項目それぞれについて、意見・望ましい取引慣行・具体的なベストプラクティスがテキストに詳しく載っており参考にして欲しい。

また、中小企業庁が5月に出した「下請適正取引等の推進のためのガイドライン」ベストプラクティス集(改訂版)は、望ましい理想的な取引事例集ですので参考にしていただきたい。

最後に、古田講師から皆様の企業が末永く繁栄することを願っておりますとの言葉があり、



熱心に説明を聞く参加者ら

ガイドラインの説明が終了した。

続いて、(財)全国中小企業取引振興協会の池田主任研究員より、「下請かけこみ寺」について説明があった。「下請かけこみ寺」は平成20年4月1日に全国47都道府県に開設され、中小企業が抱えるさまざまな取引に関する相談、裁判外紛争解決手続(ADR)を活用した迅速な解決、ガイドラインの普及啓発等を行っている」と説明。第1部を終了した。

休憩の後、第2部「中小企業事業承継税制」について、中部経済産業局中小企業課森課長補佐より事業承継円滑化のための総合的支援策について説明を受けた。

続いて、「2008年版ものづくり白書」について、経済産業省製造産業局参事官室石上調査員より、経済産業省・厚生労働省・文部科学省合同による「平成19年度ものづくり基盤技術の振興施策(概要)」について説明を受けた。我が国ものづくりが直面する課題と展望として、サプライチェーンの強化、ものづくりへの信頼の回復、資源・環境制約への対応が掲げられた。

人材育成については、就業形態の多様化に対応したシステムの確立が必要である。また、学校教育では、5年間一貫の実験・実習を重視した実践的・創造的な技術者の育成を担う高等専門学校。専門高校では、地元企業の協力を得て、座学と長期間の企業実習を組み合わせた教育(日本版デュアルシステム)を推進し、実践的な知識・技術の確実な習得を通じて資格取得を積極的に進める。中学校を中心とした5日間以上の職場体験を充実させることなどに取り組んだ。

最後に、平成19年度においてものづくり基盤



第1部の解説をする古田講師

技術の振興に関して講じた施策について説明を受け、第2部を終了した。

〈下請かけこみ寺〉

本 部：(財)全国中小企業取引振興協会

(03-5541-6655)

愛知県：(財)あいち産業振興機構

(052-231-6364)

岐阜県：岐阜県産業経済振興センター

(058-277-1092)

三重県：三重県産業支援センター

(059-228-7283)

富山県：富山県新世紀産業機構

(076-444-5622)

石川県：石川県産業創出支援機構

(076-267-1219)

## 「自動車産業適正取引ガイドライン」

### アンケート結果(一部抜粋)

※本日の説明会を受講されて、下請ガイドラインを今後どのように活用したいと思いますか。

①取引先と価格交渉等を行う際に活用していきたい。 38名(62%)

②同業者間の足並みを揃えるために役立ててい

TOYO  
**CSいちばん宣言!**  
Customer Satisfaction ICHIBAN

東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機 / 金型  
<http://www.toyo-mm.co.jp>  
中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市中東区社が丘1-1202  
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

プラスチック用産業合理化機器メーカー  
**NAKAMURA**  
中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory 東京支店 Tokyo branch  
〒44-0851 愛知県岡崎市北野町字東塚101 〒192-0054 東京都八王子市小門町8-37  
TEL.0564)31-2919 TEL.10426)20-5466  
FAX.0564)31-9435 FAX.10426)20-5461  
URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

- きたい。 8名(13%)
- ③社内研修用として使用していきたい。 14名(23%)
- ④その他 1名(20%)

※本日の説明会について

[1] 全体のご感想をお聞かせください

- ①大変よかった 11名(18%)
- ②良かった 44名(73%)
- ③あまり良くなかった 6名(9%)
- ④良くなかった
- ⑤その他

[2] 時間について

- ①ちょうど良い 37名(60%)
- ②時間が長い
- ③時間が短い 25名(4%)

[3] 講義内容について

- ①内容が分かりづらい 7名(12%)
- ②十分理解できた 22名(38%)
- ③もっと詳しく説明して欲しい 29名(50%)
- ④その他

※その他ご意見、ご感想ありましたらご記入ください

- ・時間が短すぎか、内容が広すぎ。
- ・具体的にどの様な進め方、どの様な資料を持ってユーザーを説得するのか成功事例を基に、ノウハウの説明を受けたい。
- ・半日以上使って説明してもよいのでは？
- ・事例等を用いて説明していただけるとよかった。
- ・時間の問題があるようで早口になっていた。
- ・1時間程度では短かすぎる、2～3時間は必要だと思う。
- ・かけこみ寺でアドバイスを聞いてみたい。

・事例報告等の実際におこったことを比較研究した方が分かりやすい。

・中小企業の場合、かけこみ寺を利用した場合、その場は解決しても次の受注に影響が出るのでは？と不安が残る。

・取引先と交渉し、成功した具体的な事例を話して欲しい。

以上

## 「電子マニフェスト制度」

### 組合が導入、参加募集へ

組合は今年度事業として、愛知県の補助金を受けて電子マニフェスト制度の導入を図る。

電子マニフェストは、排出事業者が産業廃棄物を委託業者に引き渡す際に、パソコン等を通じて情報処理センターに産業廃棄物の種類、数量等の情報を入力し、収集運搬業者及び処分業者が作業の終了時にデータを入力することにより紙の管理票（マニフェスト）に替えるもので、次の特徴がある。(1)電子情報化により廃棄物処理の状況が即時に確認可能。(2)データを入力する作業は、事前に登録した者しかできないため、第三者が勝手にデータを入力することが不可能。(3)電子マニフェストの情報は、情報処理センターが保管・管理するため、排出事業者は紙マニフェストの保存が不要。(紙マニフェストは5年間保存)(4)知事等へのマニフェスト交付状況報告を情報処理センターが行うため、排出事業者は報告が不要。

補助事業の実施内容及び費用負担等の詳細が判明しだい参加者の募集を行う。

**PLASTICS WORLD**  
**YAMASO**

**山宗株式会社**

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825  
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138  
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京  
茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜

**射出成形を  
トータルサポート**

**NISSEI** 射出成形機・金型・複合材料・成形支援システム  
**日精樹脂工業株式会社**  
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■東海営業所/〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 TEL(0568)75-9555(代)  
■岡崎出張所/TEL(0564)52-1430 ■三重出張所/TEL(059)224-0716

■本社・工場/〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL(0268)81-1050

## 20年度委員会構成決まる 産廃が環境委員会に名称変更

新年度（20～21年度）の委員会構成が決定した。従来の「産業廃棄物検討委員会」は、今年度より「環境委員会」に名称を変更し、活動を開始した。各委員会の委員長の挨拶及び、所属委員は次の通り。（◎は委員長、○は副委員長）

### 〈総務委員会〉



鈴木啓之委員長

この度、総務委員長に選任されました鈴木化学工業所の鈴木啓之です。皆様のご指導、ご協力を得まして委員会活動に全力を尽くす覚悟です。

現状の課題としては、今年12月1日施行されます公益法人制度改革があります。公益法人として、協会事業のあり方を新しい公益法人制度に適したものに替えていかなければなりません。

また、人材の確保については業界の認知度を高め、採用や育成に繋がるためにどんなことができるのか、幅広く皆様のご意見を拝聴し、委員会で検討し、会員の皆様に提案していきたいと思っております。宜しくお願いします。

◎鈴木啓之（鈴木化学工業所）○中村公彦（大京化学）若山嘉延（藤和ライト工業）尾原成夫（オハラ樹脂工業）宇佐美教之（ウサミ化成）原田一雄（三和ライト工業所）尾崎浩一（オプコ）磯野正幸（星和化成）

### 〈文化広報委員会〉



宇佐美教之委員長

副会長退任を期に「プラスチック中部」刷新のため、若い人に交替を願い出ましたが、会長・理事長始め皆さんに慰留され、再度委員長をお引き受けすることになりました。今後共「プラスチック中部」の内容充実に力を注ぐと共に、後進にバトンタッチ出来る様、精一杯努めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

「プラスチック中部」は現在の様な電子化などの時代に必要性の有無が取り沙汰されますが、綴を見れば過去にはどんなことがあったのかなども振り返るのに便利ではないかと、自負して編集に励んでおります。

会員の皆さんの「プラスチック中部」です。忌憚のないご意見・ご投稿を文化広報委員全員でお待ちしております。

◎宇佐美教之（ウサミ化成）○井上登永（大喜プラスチック工業所）後藤鉦一郎（タイセイプラス）伊勢村昌吾（千代田合成）小川博司（藤和ライト工業）大塚幸夫（名古屋燐寸）酒井友樹（山宗）依田仁（日精樹脂工業）西川一年（中部機工新聞）

### 〈プラスチックの日実行委員会〉



横山真喜男委員長

この度プラスチックの日実行委員会委員長を仰せつかりました東洋理工(株)の横山です。

近年の原油高騰により我が業界を始め多くの産業が大打撃を受けています。その多くは化石燃料との名からも推察できるように燃料としての石油であります。しかし、我々は石油より作られるプラスチックを主原材料とし、現代社会に無くてはならないプラスチック製品を生み出しているのです。このプラスチック製品の必要性、重要性を多くの人々に理解して頂けるようにプラスチックの日が制定されたものと考えています。このプラスチックの日のPR活動をメインに委員会活動を進めていきたいと考えています。

◎横山真喜男（東洋理工）○伊勢村昌吾（千代田合成）大松利幸（岐阜プラスチック工業）木

成形不良率低減への提案

「ハングリー成形法」

株式会社 日本油機

〒229-0003 神奈川県相模原市東淵野辺4-2-2  
TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683  
E-mail:nihonyuki@sunny.ocn.ne.jp

村三郎（則武化学） 青山松夫（兼弥産業） 原田正道（中部エクストロン） 後藤敏公（みづほ合成工業所） 平松裕司（名機製作所） 塩谷國明（スター精機） 青山重博（第一実業）

#### 〈技術委員会〉



伊藤義信委員長

この度「技術委員会」の委員長を仰せつかりました伊藤義信と申します。宜しく願い申し上げます。

プラスチック成形における「技術」は、大きく分けて「成形技術」と「金型技術」並びにその2つを含めた「生産技術」の3つになるろうかと思えます。

「生産技術」と一口で申しましても、多種多様であり漫然になりがちかと存じますが、なるべく具体的に絞り込み、新しい事例の紹介なり、それを勉強する機会を会員の皆様提供出来るよう精一杯努力していきたいと考えております。

併せまして、会員の皆様からの様々なご意見ご要望を頂戴いたしたく、何卒よろしく願い申し上げます。

◎伊藤義信（伊藤プラスチック研究所）◎福岡正喜（名豊化成）水野直幸（大同ゴム工業）井上登永（大喜プラスチック工業所）宮崎伸介（日進合成樹脂工業所）大森文男（松栄工業所）江口泰彰（大成化工）磯野正幸（星和化成）尾崎浩一（オプロ）山田政利（愛和産業）

#### 〈国際交流委員会〉



大松利幸委員長

少子高齢化等の影響を受け、国内市場が縮小する中で企業の成長を図るには、国際マーケットを如何に開拓するかがどのメーカーにも課せられた共通のテーマだと考えます。

しかしながらグローバル展開を言葉では簡単に云えますが、様々なクリアすべき問題があります。言葉の問題、文化慣習の問題また為替の問題等数え上げれば切りがありません。何よりも大きな問題はントリーリスクではないでしょうか。グローバリゼーションの進展とは逆

行して国対国の摩擦が日増しに大きくなっているように感じるのは小生だけでしょうか。

当国際交流委員会としても色々な視点からプラスチックにおける国際的ビジネスの交流のために何を考えすべきかを皆で議論していきたいと考えています。

◎大松利幸（岐阜プラスチック工業）◎後藤敏一郎（タイセイプラス）尾原成夫（オハラ樹脂工業）船田明（ヤマコー）加藤良高（三琇プレシジョン）北川清登（北川工業）小島秀夫（いその）青山重博（第一実業）

#### 〈会員増強委員会〉



中村公彦委員長

会員増強委員長を仰せつかりました中村です。どんな会合でもそうですが新しく入会されました会

員や長期登録されている会員の中で出席率が悪い方や登録者が変更になり、どんな会合も知らないなど会員数の減は会員増強には大きな壁となります。そのためにはいろいろな意味で会の主旨を理解して参加してもらうことが先決だと思います。当然会員増強は必要だと思いますがここ一年は特に退会防止について重点をおきたいと思っております。

1.第1回会合 9月

会員増強委員長から主旨説明と各委員への協力をお願い。

2.第2回会合 11月

各委員及び退会防止についての討論会①

3.第3回会合 2009年2月

各委員及び退会防止についての討論会②

4.第4回会合 2009年4月

今年度の成果発表

# MEIKI

株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2

TEL (0562) 47-2391 (代) FAX (0562) 47-2395

<http://www.meiki-ss.co.jp>

このような形で関係各位にはお願いをしまして、当然ながら会員増強にも努めてまいりたいと思っておりますので、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

◎中村公彦（大京化学）尾崎浩一（オプコ）伊藤義信（伊藤プラスチック研究所）井上登永（大喜プラスチック工業所）磯野正幸（星和化成）江口泰彰（大成化工）後藤鉦一郎（タイセイプラス）野口一夫（東洋化学）鈴木啓之（鈴木化学工業所）大松利幸（岐阜プラスチック工業）山本直樹（宝永プラスチック）平松裕司（名機製作所）塩谷國明（スター精機）吉田茂（松井製作所）青山重博（第一実業）柘植崇（笠置産業）酒井友樹（山宗）

#### 〈技能検定委員会〉



このたび技能検定委員長に就任しました原田一雄でございます。検定委員になりまして10年ほどになります。私よりも長きにわたり、検定委員を務めておられる方々がたくさんお見えになり、その方々のご苦勞と功績を考えれば、私などに何が出来るのか、という思いで一杯でございます。

今後検定試験の運営については、全力を尽くす所存でございます。また近頃検定試験の受検者は年々増え続けており、私も含めて検定委員の質・量の一層のレベル向上が求められています。その向上にも務めて参りたいと思っておりますので、なにとぞ格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◎原田一雄（三和ライト工業所）○児玉康彦（三扇化学）○前田成人（前田化学工業）伊藤義信（伊

藤プラスチック研究所）大森文男（松栄工業所）齋藤隆生（藤和ライト工業）中西信一（日本クインライト）中村秀雄（豊和化成）三浦康治（S.H.Iプラスチックマシナリー）菊地秀樹（日精樹脂工業）梶田芳治（名機製作所）盛田秀一（金城化工）尾崎浩一（オプコ）後藤壽夫（ゴトープラスチック）早川隆三（東洋プラスチック工業）小森隆幸（カネコ産業）原口昇貴（大喜プラスチック工業所）中嶋慶二（職業訓練校）白勢陸郎（職業訓練校）

#### 〈環境委員会〉



皆様こんにちは、環境委員長に就任いたしました。後藤でございます。

後藤鉦一郎委員長 特に今年に入り原油高騰で、プラスチック材料価格上昇により、加工業で有る私を含め会員皆様方におかれましては、難しい環境下ではありますが、資源の再生化、再利用化を事例をもって進めて行きたいと思っております。

又我々業界は一般社会から見ると、地域環境にやさしく無い業界との認識が有ります。それらの考えを払拭できる様、環境負荷物質とは何か、又欧州ではREACH規制等が採択され全世界的に環境を考えて行動しなければ、取引が非常に難しくなります。現在我々業界の皆様と一緒に座学講演会等を行って行きたいと思っておりますので、是非皆様方の御努力をお願いいたたく存じます。

◎後藤鉦一郎（タイセイプラス）○瀬川憲（瀬川化学工業）稲熊一二三（笠寺プラスチック工業）官野利昭（大和電化工業所）杉山修平（スギヤマプラスチック）山本直樹（宝永プラスチック）川西正克（川西塗装）山下繁雄（マルエ産業）小島秀夫（いその）小森隆幸（カネコ産業）

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料



睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号

TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

## 11月14日は プラスチックの日 20年にわたりPR活動

当協会の提案から始まった「プラスチックの日」は、1988年11月14日の第1回目から、実に20年になった。

「友愛の傘」の贈呈、プラ展や街頭でのPR活動など行ってきたが、今年の計画は現在、プラスチックの日実行委員会で検討されている。近くその内容が明らかにされる。その時は会員が一丸となって盛り上げていきたい。

### 平成20年度後期技能検定実施計画

| 内 容           | 期 間   |
|---------------|---|
| 実施公示          | 平成20年9月2日(火)  |
| 受検申請受付        | 平成20年9月29日(月)から<br>平成20年10月10日(金)まで<br>[土曜日・日曜日を除く] |
| 実技試験問題公表      | 平成20年11月21日(金)                                      |
| 実技試験<br>(特 級) | 平成20年12月1日(月)から<br>平成21年2月22日(日)まで<br>平成21年2月1日(日)  |
| 学科試験<br>(特 級) | 平成21年2月8日(日)<br>平成21年2月1日(日)                        |
| 合格発表          | 平成21年3月17日(火)                                       |
| 合格証交付         | 平成21年5月中旬   |

## 学科講習会に127名が参加 本試験に向けて開催

技能検定学科予備講習会が、7月27日午前9時30分から、名古屋市中小企業福社会館（中区大須）で開催され、127名が受講した。

児玉理事長の挨拶に続き、事務局から8月24日に実施される本試験に向けての対策と注意事項の説明が行われ、10時から模擬試験を開始した。

昼食休憩を挟んで午後12時30分より中部日本プラスチック職業訓練校講師の林盛彦先生による解答と解説が行われた。昨年同様特に間違った解答が多かったのが法令とJISに関する問題で正解率が非常に悪かった。法令とJISは決めごとであり、必ず何問か出題されるので、ここはよく勉強する必要がある。

最後に模擬試験の成績結果が発表され、最高点は1級85点、2級77点、平均点は1級63.6点、2級59.0点という結果で合格点には達していなかった。



模擬試験の解説が行われる会場

# ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012  
TEL<052>931-1211(代)  
FAX<052>930-1975

## BLOW MOLDING

### ゴトープラスチック株式会社

取締役会長 後藤 壽夫

〒452-0838 名古屋市西区長先町59番地  
TEL (052) 502-7671  
FAX (052) 502-6451  
Mail: t.goto@goto-plastic.co.jp

## スケッチ

### 精密射出成形と溶着がコア 人材育成の強化をはかる

(株)鈴木化学工業所  
代表取締役 鈴木啓之

1952年に個人にて創業し、1960年資本金200万円にて株式会社鈴木化学工業所として設立。小型射出成形機（30t～350t）を主に生産し、1965年には自動車用保安重要部品工場として認定され、トヨタ自動車のブレーキオイルタンクの生産を主体としてきた。

以降PM賞、PM特別賞等々の受賞し、NHKの中小企業向番組「工業経営」のテーマ「稼働率管理と設備保全」の説明で弊社が紹介された。その後モータリゼーションの拡大と共に内外装部品、ボディーシール部品等々広範囲に拡大していったが、“何でもできるが特徴のない会社”に埋もれつつあった。

1992年トヨタ自動車のファンカーゴのウェイ3の部品の受注をきっかけにして大きく保安重要部品の生産にシフトしてきて、現在では、精密射出成形と溶着をコア技術に持ち、燃料系精密部品（フェューエルキャップ・バルブ）、冷却水分配部品（ウェイ）、タンクアッセンブリー（パワステタンク、ブレーキタンク、レゾネーター）、公害発散防止装置（キャニスター）を得意分野としている。

生産設備は、小型射出成形機68台、溶着機（熱板、超音波、スピン）20台を中心に、また測定機として、三次元、真円度、輪郭画像、粗度等々

各種取り揃え、どんな製品にも対応できている。

また、ソフト面では2003年にISO9001：2000を取得し、“地についたISO”をめざし、内部監査の充実、他社との内部クロス監査等を行い着実に成果をあげてきた。

人材の育成については、各階層別に年間教育計画を立て教育し、人財となるべく努力している。中でも新入社員については、(社)中部日本プラスチック製品工業協会付設の中部日本プラスチック職業訓練校の養成訓練（通学制）を積極的に活用し、現在10名の卒業生が頑張っている。

今後については、金型技術、精密成形技術、溶着技術をさらにレベルアップし、社是の誠実みのある人間、信頼される製品、信頼される会社を基本心得に、全社員一丸となって取り組んでいく。



幸田工場外観（上）と工場内



**株式会社 三幸商会**

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

**Sanko Shokai Co., Ltd**

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

取出用ロボット・FAシステムの総合開発

**STAR**

株式会社 スター精機  
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

**TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291**

浜松営業所/〒431-3124 静岡県浜松市東区半田町241 ☎053(432)6131 函053(433)0107

本社・工場 /〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 ☎0587(95)7551(代)

出雲工場 /〒699-0631 島根県鹿川郡斐川町大字直江町3538 ☎0853(72)4311



# 《平成20年4月～6月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 324社 (35.4%)

## 1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

|                |                 |                 |                 |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 東日本 80社(34.2%) | 神奈川県 35社(38.0%) | 中部日本 53社(30.1%) | 西日本 156社(37.8%) |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|

## 2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

|                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 日用品・雑貨類 33社    | 包装用容器・キャップ 48社 | 電気・電子・通信部品 86社 |
| 自動車・輸送機器部品 83社 | 住宅関連 19社       | その他 45社        |

## 3. 従業員数の内訳

|            |              |              |            |
|------------|--------------|--------------|------------|
| 1～30人 110社 | 31～100人 128社 | 101～300人 59社 | 301人以上 18社 |
|------------|--------------|--------------|------------|

## 4. 今期(平成20年4月～6月)の自社業況について(前期比%)<( )内は前回の結果です>

|          | 前期(平成20年1月～3月)比 |      |         |      |        |      |
|----------|-----------------|------|---------|------|--------|------|
| ①生産・売上高  | 1. 増加           |      | 2. ほぼ横這 |      | 3. 減少  |      |
|          | (20.2)          | 19.1 | (46.5)  | 40.4 | (33.3) | 40.4 |
| ②製品単価    | 1. 上昇           |      | 2. ほぼ不変 |      | 3. 下落  |      |
|          | (12.1)          | 11.4 | (69.9)  | 70.4 | (18.1) | 18.2 |
| ③採算      | 1. 好転           |      | 2. ほぼ横這 |      | 3. 悪化  |      |
|          | (8.2)           | 4.9  | (50.0)  | 40.7 | (41.8) | 54.3 |
| ④所定外労働時間 | 1. 増加           |      | 2. ほぼ横這 |      | 3. 減少  |      |
|          | (17.0)          | 10.2 | (62.4)  | 63.3 | (20.6) | 26.5 |
| ⑤製品在庫    | 1. 増加           |      | 2. ほぼ不変 |      | 3. 減少  |      |
|          | (15.2)          | 15.7 | (67.7)  | 64.2 | (17.0) | 20.1 |
| ⑥樹脂原料単価  | 1. 上昇           |      | 2. ほぼ横這 |      | 3. 下落  |      |
|          | (77.7)          | 84.9 | (20.9)  | 14.8 | (1.1)  | 0.0  |
| ⑦総合判断    | 1. 好転           |      | 2. ほぼ横這 |      | 3. 悪化  |      |
|          | (9.6)           | 5.2  | (48.6)  | 39.2 | (40.8) | 54.6 |
| ⑧来期の見通し  | 1. 好転           |      | 2. 横這   |      | 3. 悪化  |      |
|          | (11.3)          | 8.3  | (50.7)  | 42.6 | (37.2) | 47.2 |

## 5. 当面の経営上の問題点(%)<( )内は前回の結果です>

|                        |                         |                          |                          |                             |
|------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 受注不振<br>(29.4) 34.6 | 2. 売上不振<br>(28.7) 31.8  | 3. 輸出不振<br>(1.4) 1.9     | 4. 製品単価安<br>(48.2) 47.8  | 5. 取引条件悪化<br>(3.5) 4.3      |
| 6. 過当競争<br>(14.5) 12.3 | 7. 輸入品との競合<br>(7.4) 5.6 | 8. 流通経費増大<br>(11.0) 16.7 | 9. 原材料高<br>(78.7) 83.3   | 10. 借入負担増<br>(6.4) 5.2      |
| 11. 貸し渋り<br>(0.4) 3.4  | 12. 人件費高<br>(20.9) 15.7 | 13. 技能者不足<br>(24.1) 24.4 | 14. 技術力不足<br>(14.5) 12.0 | 15. マーケティング力不足<br>(6.0) 6.5 |
| 16. 設備過剰<br>(2.1) 3.1  | 17. 法的規制<br>(1.8) 1.9   | 18. 為替問題<br>(4.6) 2.8    |                          |                             |

## 6. 平成20年度夏季賞与の支給について

| 支給あり  |       |       | 支給なし  | 無効回答 |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 上昇    | 同等    | 減少    |       |      |
| 13.6% | 46.6% | 25.3% | 11.7% | 2.8% |